

平成三十年一月六日(土) ~ 三月二十四日(土)

藤岡玉骨と後藤夜半・後藤比奈夫

俳誌「諷詠」(ふうえい)展

登録有形文化財「藤岡家住宅」うちの館(やかた)

〒637・0016 奈良県五條市近内町526

0747(22)4013 info@uchinono-yakata.com

第十回藤岡玉骨記念俳句大会は講師に「諷詠」主宰 和田華凜氏を迎えます。皆さまのご参加をお待ちしています。(詳しくは裏面を御覧下さい。)



4月
か
し
し
し
し
し

やはん

ひな

は
わ
ら
ら

國
栖
人
の
心
を
こ
の
詩
に
こ
み
こ
め
た
ら
し
い

し
ら
い
の
こ
ろ
に
お
も
て
な
さ
し
ま
す



俳誌「諷詠」(ふうえい)展

期間：平成30年1月6日(土)から3月24日(土)

登録有形文化財「藤岡家住宅」展示室2階にて

高校生以上300円・小中学生200円 20名以上2割引9時～4時・月曜休館・月曜が祝日のときは開館して翌日休館

藤岡家は「ホトトギス」派俳人 藤岡玉骨(本名 藤岡長和 明治21年～昭和41年)の生家です。玉骨が内務官僚を退官して生家に戻って以来、高浜虚子をはじめ、数多くの俳人が当家を訪れ、直筆の短冊や色紙、掛け軸などを残しています。玉骨の忌日(3月6日)を記念して毎年3月に開催される「藤岡玉骨記念俳句大会」も、今回で第10回となりましたが、今回は「諷詠」主宰和田華凜氏を講師にお願いし、前主宰 後藤立夫氏についての講演をしていただきます。諷詠創刊・主宰 後藤夜半、続く 後藤比奈夫らが玉骨に宛てた書簡や、当家に残した俳句史料などを展示します。明治から昭和の「俳句文化」の「華」をご覧くださいと思います。

俳誌「諷詠」は昭和23年1月後藤夜半によって創刊。創刊当時の誌名は「花鳥集」。発行所は花鳥会。昭和28年6月第61号より誌名を「諷詠」と改題。編集発行人を後藤比奈夫。発行所を諷詠会に変更。昭和51年主宰を比奈夫に継承。その後、平成24年、主宰を後藤立夫に継承。平成28年、主宰を和田華凜に継承。

後藤 夜半(ごとう やはん) 明治28年1月30日～昭和51年8月29日は、大阪府出身。本名は潤。高浜虚子に師事。「諷詠」を創刊、主宰。「ホトトギス」同人。喜多流の能楽師で人間国宝の後藤得三、喜多流十五世宗家の喜多実はともに実弟。後藤比奈夫は息子。北区曾根崎新地生まれ。父・真平、母・フクの長男。私立泊園書院を卒業後、大正7年から終戦まで北浜の証券会社長門商店に勤める。少年時代、父の書架にあった「ホトトギス」を読んだことから俳句に興味を持つ。大正12年「ホトトギス」に初投句し、高浜虚子に師事。同誌の日野草城、山口誓子、阿波野青畝らと「無名会」を結成。昭和3年「ホトトギス」課題句選者。昭和6年「蘆火」を創刊、主宰。昭和7年「ホトトギス」同人。昭和9年、病気のため「蘆火」を終刊。戦後は俳句専業となり、昭和23年「花鳥集」を創刊、主宰。昭和28年「花鳥集」を「諷詠」に改題。俳人協会名誉会員。神戸俳人協会理事等も努める。昭和51年、神戸市東灘区北青木にて死去。同じく「ホトトギス」派の俳人であった藤岡玉骨(明治21年～昭和41年)との深い交流の記録が藤岡家に残されている。

後藤 比奈夫(ごとう ひなお) 大正6年(1917年)4月23日～(現在100歳)。大阪府出身。本名は日奈夫(読み同じ)。「諷詠」名誉主宰。父は後藤夜半。大阪府西成郡今宮村に生まれる。神戸一中、旧制一高を経て、昭和16年に大阪大学物理学科を卒業。戦時中は陸軍の技術研究所に勤務。ボン電気会社を設立。昭和26年、父夜半について俳句の道に入り、夜半の主宰誌「花鳥集」に拠る。「ホトトギス」「玉藻」にも投句し高濱年尾、星野立子に師事。昭和29年、「花鳥集」が「諷詠」に改題され、その編集兼発行人となる。昭和30年、波電子工業所を創業。昭和36年「ホトトギス」同人。昭和51年、夜半の死により「諷詠」主宰を継承。昭和40年、波電子工業社長を退き俳句一筋となる。昭和62年 俳人協会副会長、日本伝統俳句協会顧問、大阪俳人クラブ会長、大阪俳句史研究会代表理事などに就任。藤岡玉骨の長男 長久氏とは一高でテニスのダブルスを組んだ同胞。



渡り石
渡りたのらい
梅仰ぐ
玉骨

藤岡玉骨(本名 藤岡長和) 明治21年～昭和41年



- 第十回藤岡玉骨記念俳句大会のお知らせ
- 日時 平成三十年三月九日(金)
 - 午前十一時受付開始 十二時 当日句締め切り
 - 会場 登録有形文化財「藤岡家住宅」大広間
 - 当日参加費 二句二千円(昼食代含む)
 - 講演「父 後藤立夫と語る」
講師「諷詠」主宰 和田華凜氏
 - 郵送での応募方法
当季雑誌2句1組(未発表に限る。何組でも可)
 - ① 郵便番号②住所③氏名④俳号⑤電話番号
 - ⑥大会出席の有無を明記し、投句料(一組千円)
現金書留または郵便小為替
 - 募集期間 平成二十九年十二月十五日から
平成三十年 二月十六日(金)まで 当日消印有効
 - 送付先 〒637-0001 奈良県五條市近内町五二六
NPO法人うらのの館 藤岡玉骨記念俳句大会事務局宛
電話・0747-222-4013
 - 選者 茨木和夫 上辻蒼人 塩川雄三 瀬山一英
西谷剛周 森田純一郎 和田富子(五十音順)
 - 主催 NPO法人うらのの館
協賛 俳句結社 かつらぎ